

財務省本省総合職における理系学部出身職員の活躍

財務省でのこれまでの業務とその魅力

入省後、最初に配属されたのは主計局です。1年目は令和元年度予算編成過程に携わりました。また、2年目は、東日本大震災から10年が経つ東北の復興を支える仕組み・組織・財源を整備する法改正に関わりました。

3年目は仙台国税局に出向し、東北地方の法人に対して実地調査等を行い、法人税・消費税に関する申告書等の分析・検討を実施しました。

4年目は、3か月間の財政経済理論研修にて、経済学・財政学等を体系的に履修するとともに論文を執筆したのち、現在は金融庁に出向し、送金手段や証券商品等のデジタル化に対応した金融制度に関する検討に係る業務等に従事しています。

理系出身であっても法令担当になることももちろんあり、普段はバックグラウンドの違いを意識することなく働いています。

国家予算という非常に規模の大きな仕事から、その予算を裏付ける税の徴収の現場での仕事、さらに省庁の垣根を越えて、時代の最先端にあるデジタル金融分野の仕事と、幅広い業務に携われることが、財務省の業務の醍醐味です。日々勉強が必要ではありますが、同時に、興味が尽きることなく、様々な分野の業務に取り組むことができます。

財務省で生きる理系の素養

これまで複数の部署で業務に携わる中で、理系の素養が役に立ったと感じる場面は数多くあります。

例えば、政策立案の際に必要な資料の作成時において、論文等から関連情報を収集するときは、大学・大学院で多くの論文に触れてきた経験が活きていると感じます。

また、財政経済理論研修において、企業統治に関する研究を行った際には、情報収集に加え、計量経済学を理解、データ整理、統計ソフトでのプログラミング、論文執筆にいたるまで、卒論・修論の作成経験が活かしました。

政策立案時には、最新の論文の分析等を理解・解釈する必要性もあるところ、学生時代に研究に励んだ経験は、今後も十分活かせる場面があると思っています。

なぜ財務省？

東日本大震災をきっかけに、大学・大学院ではエネルギー政策や原子力工学を専攻しましたが、働くにあたって、分野を問わず広く社会問題の解決に携わりたいという思いから財務省を志望しました。

予算や税、財政投融资など、社会問題を解決するために必要な政策ツールが財務省は特に多様であることに加え、次世代に希望ある社会を引き継ぐために財務省が担う役割を説明する、当時の採用補佐の姿が魅力的であったことが、財務省入省の決め手になりました。

Hiroaki Sumiyoshi

住吉 宏章

学生時代の専攻：エネルギー政策
採用試験区分：工学

平成30年3月 東京大学大学院工学系研究科修了
平成30年4月 主計局調査課
令和元年 7月 主計局法規課
令和2年 7月 仙台国税局
令和3年 7月 金融庁企画市場局総務課信用制度参事官室係長



Yu Otake

大竹 悠

学生時代の専攻：物理学
採用試験区分：数理科学・物理・地球科学

平成28年3月 慶應義塾大学理工学部卒
平成28年4月 理財局国債企画課
平成29年7月 理財局国債業務課
平成30年7月 札幌国税局
令和元年 7月 主税局総務課調査主任
令和2年 7月 主税局総務課総務第一係長
令和3年 8月 南カリフォルニア大学



財務省におけるこれまでの経験

入省してから約2年間を国債マーケットで過ごしました。金利リスクの試算から市場分析、マーケット関係者とのヒアリングなど、霞が関の中でも貴重な経験をしました。金利リスクの試算では、一から経済・金融を学びました。マーケット関係者へのヒアリングや税務調査では、それぞれの専門知識が深く求められ、日々資料と格闘していました。

その後、3年間ほど、企業への国税調査や税制の企画立案に従事しました。法律作成の取りまとめの係長として、国会対策や法案対策の他、海外税制の研究も行いました。大変充実し、毎日が目まぐるしく過ぎていきました。現在は米国の公共政策大学院で計量分析や政策提言の研究を行っております。

理系の強みを活かして

正直、私が学んだ量子力学も相対性理論も業務には登場しません。しかし、理系で培ったデータ分析や大学レベルの計算は、マーケット分析における債券デュレーション計算、国税調査における会計帳簿の整理など、積極的に活用できる場面がありました。

勿論、全ての業務に計算が登場するわけではないですが、理系の強味は、一つのことを突き詰めていく力で、専門家たりえる方法を知っていることだと考えています。これらのことを常に意識して仕事をしています。

理系の皆様へ

国家公務員には文系が多いイメージで、就職活動を通じて不利なのではないかと感じる場面もあるかもしれませんが、しかし、実際には多くの理系職員が働いています。不確かな情報に惑わされず、自身の信念を持ち、社会に対する明確な問題意識を持って、積極的に行動してください。応援しています！